

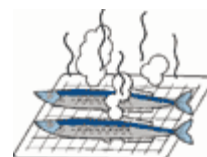
# 進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2011.10.6

No. 51

## あきらめない



就職希望者にとって今年は本当に厳しい状況が続いています。10月5日現在上伊那地区で就職一次試験の合格者196人、不合格者88人だそうです(本校ではそのうち30名)。本校ではまだ20名弱が合否の発表が無く、今後上伊那地区で100人くらいの求人が出てくるのか心配です。

一次でうまくいかなかった人は、内心穏やかではないでしょう。急激な円高により、各企業は求人したくても先が読めず求人に対してしばらく足踏み状況のようです。

就職をあきらめて技専等への進学に切り替えた人も数名出ていますが、あくまで就職にこだわれば求人が出ないことには何とも動きようがありません。就職支援員の中村さんも連日企業開拓に動き回っていただき、少しずつではありますが、求人が出てきています。但し今のところ工業科の生徒を希望というところが多く、普通科の生徒まで回らないのが現実です。

こうした中で、あきらめて「ニート」や「フリーター」でも良いと考え始めている人があるかもしれませんが、まだあきらめるのは早いと思います。今週末か来週にはハローワークから求人が満たされない企業の一覧表も出てくるようですし、少しずつでも新しい求人が出てくる可能性はあります。時間はかかるかもしれませんが、もうしばらく待ってください。またこれはというものが出たら早めに反応しましょう。ぐずぐずしていると他の人がどんどん入ってきますよ。



## 世の中は君のペースで動いていない

二次試験以降は「世の中は君達のペースで動いていない」ことを肝に銘じて欲しいものです。早めに企業見学の希望を出し、見学に行き、そこを受けたいと思ったら出来るだけ早めに履歴書を書いてください。書類が揃った時点で企業へ応募書類を持っていきます。ぐずぐずしていると他校の生徒が先に応募書類を出し、就職試験が済んでしまう可能性があります。二次以降は迅速な対応をしていかないと、早い者勝ち的な面があります。

ぜんぶ、いつべんに

解決することなんてできやしない。

:

ひとつずつしかできない。

あれをやってる間は、これができない。

誰でもが満足することなんて、

ほんとは無理だ。

だけど、ひとつずつならやれることがある。

少しずつ進めたら、ずいぶん遠くに行ける。

「できない」を知るのは絶望じゃない。

「できる」ことからしている人が、

ずいぶんいいのを知っている。」「

よくばらないで、

少しをしっかりとやってる人たちが、

あちこちにたくさんいます。

「ぜんぶはできない」

という当たり前のことを、

そういうもんだよなあ、

とつくづく知ったら、

少し「できる」ようになるみたいです。

そして、少し「できる」仲間と

知り合えるみたいです。

(ほぼ日、糸井重里)